

一般質問（要旨） 「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は11月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



▲福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

横田飛行場内における泡消火薬剤の漏出について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 本年7月、北関東防衛局から「横田飛行場で2010年から2012年に3件の泡消火薬剤の漏出があったが、場外へ漏出したとは認識していないと米側より説明を受けている」との情報提供があった。現在、PFAS（有機フッ素化合物）の健康への影響等に関心が高まる中、速やか

に情報提供されなかったことは極めて遺憾。市の受け止めと対応を伺う。

市長 速やかに基地周辺自治体に対し情報提供がされなかったことは極めて遺憾である。横田基地に起因する事件、事故等の情報は国が責任を持って十分な説明と迅速かつ正確な情報提供を行い、安全対策の徹底

や周辺住民の生活環境へ配慮等すべきである。今後、漏出等が判明した場合は、速やかな情報提供のほか、国の責任において漏出に係る地下水への影響について調査・分析・評価を行い、しっかりと説明することなど、引き続き都や周辺自治体とも連携し、国や米軍に対し求めていく。



▲令和5年7月に北関東防衛局から提供された情報の一部

包括施設管理委託について



公明党
原田 剛 議員



質問 本委託について、平成30年第2回定例会の際は、当面の間情報収集したいとの回答だったが、現在の本市の包括施設管理の状況を伺う。

市長 令和4年12月にサウンディング調査を実施。事業規模を小・中学校10校の保守点検や清掃業務等と想定し、委託規模や業務範囲の考

方について意見を求めた。導入については、費用対効果などを踏まえ、引き続き検討を進めたい。

熱中症対策について

質問 学童クラブ、ふっさっ子の広場における熱中症対策と救急処置について伺う。

市長 各事業者に対して東京都教

育委員会が策定した熱中症対策ガイドラインの活用を依頼しているほか、熱中症警戒アラート発表時の対応について情報共有を行い、ガイドラインに示されている救急処置等、各現場において支援員や指導員同士での情報共有を密にして適切な指導と管理を遵守・徹底したい。



熱中症対策への取組及び今後の予防について



正和会
小林 貢 議員



質問 市民の健康や命を守る本市の熱中症対策のこれまでの取り組みと、今後の熱中症予防について伺う。

市長 対策では、熱中症警戒アラート発表時の防災無線とふっさ情報メールによる注意喚起や、包括連携協定を締結する大塚製薬株式会社より福生市オリジナル熱中症予防啓発

ポスターの提供を受けるなど、幅広く周知や注意喚起を実施。予防では、令和6年春頃施行予定の改正気候変動適応法の動向を注視している。

国登録有形文化財「旧ヤマジユウ田村家住宅」の活用について

質問 これまでの活用状況と、今後の活用について伺う。

教育長 令和4年度は従来の東土蔵ギャラリーに加え、新たに母屋を用いた季節展示を実施。本年度はスタンプラリーなどのイベント会場として提供している。今後はこれまでの取り組みのほか、新たにボランティアの方々による解説会の定期実施に向けて調整している。



▲旧ヤマジユウ田村家住宅

凸版印刷株式会社との包括連携協定について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 令和5年8月1日付で包括連携協定が締結されたが、この経緯や具体的な内容等について伺う。

市長 令和4年3月の福生市DX推進プランの策定後、BPR（業務内容やプロセスの再構築）において提案があり、包括連携協定として持続可能な行政運営、スマートシティ

の推進、行政サービス広域化の3点のほか、広く地域の活性化と市民サービスの向上に取り組むこととした。**スクールソーシャルワーカー事業について**

質問 増員の経緯や背景、取り組み、成果と今後の課題等を伺う。

教育長 課題を抱える児童・生徒

への支援強化のため、東京都教育委員会のスクールソーシャルワーカー新規事業に申請し、採択された。スクールソーシャルワーカーが各小・中学校へ巡回することで対応件数が増加し、適切な支援へつながった。課題は人材の確保で、積極的な情報発信に努めていきたい。



▲凸版印刷株式会社との包括連携協定締結式

熊川駅のバリアフリー化について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 駅前道路からホームへのバリアフリー化がまだ実現していないが、進捗状況を伺う。

市長 福生市都市計画マスタープラン（第2期）及び第4期福生市バリアフリー推進計画でバリアフリー化推進を掲げ、検討を重ねている。必要な駅前用地について、本年度に

入り土地の一部を有償譲渡の方向で一定の了解が得られ、今後、正式に取得した段階で整備の検討に入る予定で、関係機関と協議を進めたい。

保育士不足解消に向けての市の取組について

質問 全国的に保育士は不足しており、待機児童の発生要因になりか

ねない。本市の取り組みを伺う。

市長 市広報やYouTubeチャンネル、リーフレット等でのPRのほか、障害のあるお子さんに保育士を加配する経費の拡充や、市内に勤務する保育士へ住宅をあっせんする都内で初となる施策も開始するなど、取り組みを積極的に推進している。



▲現在の熊川駅